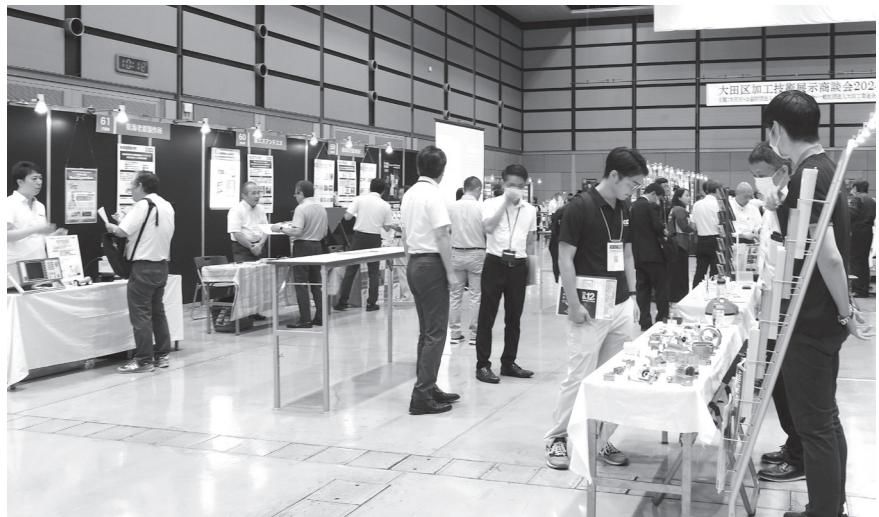




No.405 令和6年11月29日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人会長 広瀬 安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



ハブコネクター企業が集まる企画展エリア

温かく迎えてくれて居心
田区はものづくりをする
人にとって支援が手厚い
だけでなく、新入りでも

大田区の未来を、若手が切り拓いていく。
大田工業連合会（以下、当会）と
大田区、大田区産業振興協会が主
催する大田区加工技術展示商談会
2024 ~One for all, All for one~
A11 for one~が9月12
日、大田区産業プラザPiO1階大
展示ホールで開催された。昨年は台
風が接近する中での開催となつた
が、今年は晴天に恵まれたこともあ
り、参加者数は1403名と昨年の

大田区の未来を、若手が切り拓いていく。
大田工業連合会（以下、当会）と
大田区、大田区産業振興協会が主
催する大田区加工技術展示商談会
2024 ~One for all, All for one~
A11 for one~が9月12
日、大田区産業プラザPiO1階大
展示ホールで開催された。昨年は台
風が接近する中での開催となつた
が、今年は晴天に恵まれたこともあ
り、参加者数は1403名と昨年の

812名を大幅に上回った。

当会関連企業から43社、全体会員の取り組みとして、「ハブコネクター企業」が出展可能な企画展のエリアを会場の中心に設けた。ハブコネクター企業とは地域の中で取引が集中しており、地域外とも取引を行なう「ハブ」と「コネクト」の機能を担う企業。大田区の多様な企業とその技術・製品を、国内外へと橋渡しする役割を持つ企業が出展した。

地が良い。そういう良さも知つても
らいたい」と意気込む。

（株）極東精機製作所は創業76年精密部品加工会社だが、平均年齢が30代と若手が多い点が特徴だ。東京都立六郷工科高等学校からインターン生を毎年1名受け入れおり、その現場経験を通して学生が同社に関心を持ち、入社す

るケースが数年続いているという。2018年には長く培ってきた大型旋盤加工や偏芯軸加工などの技術力と、近年強化している製品開発力を活かし、

示会にて初めて新システム「DrumRole OCR」を発表した。

同製品は人工知能（AI）を用いて手書きの書類や帳票をデータ化する技術「AI-OCR」を搭載し、これまで手作業だった入力業務を削減する。WEBアプリでシンプルに、操作性を意識して開発した。

共同代表の松本隆太郎CEO（最高経営責任者）と牛尾夢海COO（最高執行責任者）は共に20代。日本の

ステム開発に取り組む同社は、本

伝統の技術と若手の力が製造業を盛り上げる。その鼓動が今、大田区から鳴り始めている。

松本CEOは視察に訪れた鈴木晶雅

が多かったという。牛尾COOは「社

名はドラムロールを鳴らすように業

界を盛り上げたい」という思いと、そ

のRole（役割）を担おうという覚悟を表しています」と気合十分。

大田区長をはじめ来場者に製品を説明し、手応えを感じていた。

初期には町工場に直接交渉して、工

場見学や現場での課題調査を依頼し

たが、受け入れ先は大田区の町工場

だけだ。受発注管理に工

程管理、品質管理と機

能を絞り、町工場で導

入しやすい生産管理シ

ス

基幹産業である製造業をITの力で

盛り上げたいと一念発起した。創業

100社2団体が出展した。今回初めての取り組みとして、「ハブコネクター企業」が出展可能な企画展のエリアを会場の中心に設けた。ハブコネクター企業とは地域の中で取引が集中しており、地域外とも取引を行なう「ハブ」と「コネクト」の機能を担う企業。大田区の多様な企業とその技術・製品を、国内外へと橋渡しする役割を持つ企業が出展した。

今回も大田区発のスタートアップや、若手が活躍する企業が輝きを放ち、会場全体を活気づけた。

企画展に出展した（株）M&D JAPANは、大田区が運営する創業支援施設「六郷BASE」の前身である「BICあさひ」から創業し、今回が初めての出展だ。機械設計の請負から製品企画の手広く担う同社は、全国300社もの多様な協力会社と手を組みものづくりに励む。安藤貴記社長は今年から、当会に属する蒲田工業協同組合の青年部の委員を担う。「大田区はものづくりをする人にとつて支援が手厚いだけでなく、新入りでも

温かく迎えてくれて居心

田区はものづくりをする

人にとって支援が手厚い

だけでなく、新入りでも

温かく迎えてくれて居心

田区はものづくりをする

人にとって支援が手厚い

ミライのロボット技術者が結集 秋のロボットセミナー in 都立産技高専 開催



先生に見守られながらロボットを組み立て



みんなで動作チェック

大田区と大田工業連合会は10月20日、東京都品川区にある東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスで、「IoT基礎Lab. for Junior 秋のロボットセミナー」を開催した。

同イベントは、プログラミングカードの製作と専用ソフトでのプログラミングを通じ、ロボット工学の基本を学べるイベントだ。大田区在住在学の小学4年生から中学2年生までの児童、生徒が対象で、抽選で選ばれた18名が参加。指導役は同校の浅川澄人先生で、サポートとして高専の学生が協力した。

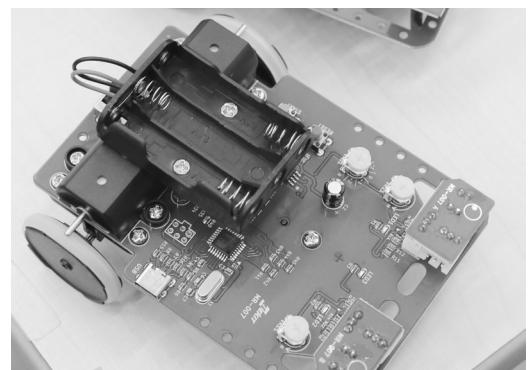
子供たちは自分で持ってきた工具を使い、プログラミングカード「コロボライト2」を組み立てた。同キットは光センサーとモーターを搭載し、単四電池三本で駆動する。コネクターの差し替えでセンサー位置を変更すると、障害物検出カーベル、床検出カーベル、ライントレーススカーパーとして制御を楽しめるのが特徴だ。子供たちはドライバーやニッパーを使い、プログラミングカードの基板にシャフトやモーター

ターラー、電池ボックスを取り付けていく。中学年の子供たちは製作にてこずる場面もあったが、浅川先生と学生たちの丁寧なサポートもあり、例年より早い時間でプログラミングカードを完成させた。

プログラミングカードが完成すると、専用のサイトにアクセスしてプログラミングに進んだ。子供たちはプログラミングカードとパソコンをケーブルでつなぎ、ブラウザでプログラムを入力。プログラムはシンプルにビジュアル化されており、子供たちでも感覚でプログラミングできようになっている。

プログラミングカードを製作する教室の隣には、大きなテーブルと、コースが用意された。子供たちはプログラムを行うと、プログラミングカードの挙動を確認。自分

援の声が上がるが、ゴール寸前でコースアウトすると、子供たちは「あー」と叫び悔しがった。子供たちの挑戦はセミナーの終了時間ギリギリまで続いた。ライントレースを使ってタイムアタックをクリアした小学6年生の永作陸さんは、「左側のラインセンサー



コロボライト2

を使ってコースをクリアしました。曲がり角に入る角度によってはコースアウトしてしまうので、スタートの際のプログラミングカードの角度を工夫することでゴールしました」と勝因を語った。

モーター制御でクリアした中学生の金澤明佳里さんは「モーター制御を使うのに慣れていたので、センサーは使わずにクリアを目標しました。コースをメモに書いてたりして曲がる角度や進む秒数を微調整したのが良かったのかと思います。またイベントがあれば参加したいです」と明るく答えた。

最後に挨拶した当会の吉崎彰事務局長は「大田区はものづくりの町で、ロボット部品や半導体の製造装置を作っている会社が多くあります。皆さん、この学校に進学していただき、大田区の企業に就職してもらえたならと思います」と挨拶した。

ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します

大田区では、令和7年1月17日(金)午前10時から大田区役所本庁舎にて、企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。

区内で活躍されている社会保険労務士を講師にお迎えして、「教えて!『育児・介護休業法』改正で変わる企業の制度と取り組み~」をテーマに、従業員が安心して働くことができ、企業が使える助成金やヒントなどについてお話しいただきます。

申込方法など詳細は、区のホームページやチラシなどでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。

HPはこちら



大田区総務部 人権・男女平等推進課

電話 03-5744-1610

当会会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況をご報告いたしました。6月に減少傾向となっていたサイバー攻撃件数は、7月以降、右肩上がりの増加を見せており、9月は2024年で一番のサイバー攻撃件数を記録しております。

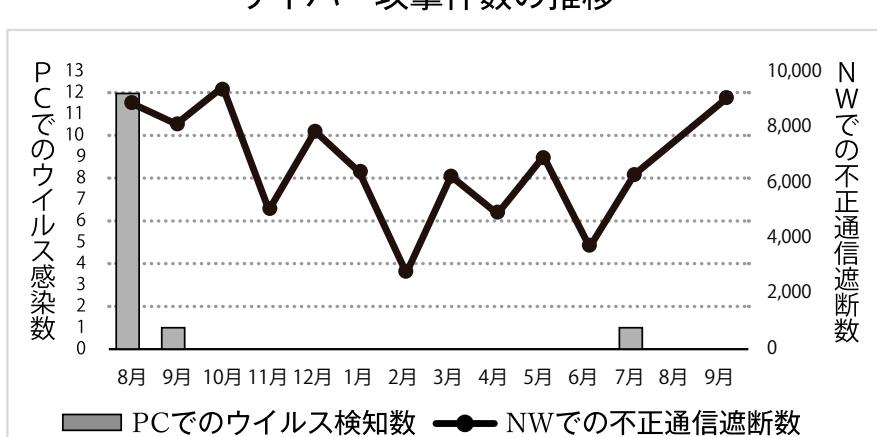
【当会会員企業におけるサイバー攻撃状況】

ており、中小企業を中心に猛威を振るつて
います。2024年度上期も前年同期比で
105%増となっており、過去最高の件数
だった昨年度を超えて増加している状況で
す。また、ランサムウェア感染が最も多い業
種は、製造業（18%）、ヘルスケア（10%）、
建設（10%）、小売（9%）、サービス（9%）
となつていて、まさに当会会員企業の皆様の
ような製造業が狙われている状況です。万が
一、ランサムウェアに感染するとKADOK
AWAのように、業務が長期間ストップする
恐れがあります。経営に深刻な影響を及ぼし
うるため、会員各社も十分にご注意ください。

2024年度前半のサイバーセキュリティにおける主な出来事を振り返ってみましょう。まず、最も大きな話題となったセキュリティ事件は、6月に発生した株式会社KADOKAWAの事例です。グループ会社であるドワンゴへの不正アクセスを契機に、KADOKAWAグループは、コンシューマ向けのサービスを数多く提供しており、それらが最大2か月間サービス停止していたため、ご存知だった方も多いのではないでしょうか。こちらは、ランサムウェアというコンピュータウイルスによってデータが破壊され、復旧まで2か月もかかりました。次にそのランサムウェアの上半期の傾向を

サイバー キュリティコラム

KADOKAWA、2ヶ月サービス停止



セキュリティ対策機器を導入している場合、これらのサイバー攻撃は機器側で自動的に遮断するため、意識することはほぼないかと思いますが、セキュリティ対策が不十分である場合、これらの攻撃が直接着弾している恐れがあるばかりか、対策が不十分であるがゆえに、パソコンの挙動がおかしいなどの目に見える症状が出るまで気づくことすらできない恐れがあります。知らない間に、取引先やお客様のデータを盗み取られるなどした場合、関係者にも多大な迷惑をかけることを認識いただき、継続的なセキュリティ対策の推進や、従業員の皆様への周知活動をよろしくお願いします。

大田工業連合会は、
皆様のご加入をお待ちし、歓迎します。

一般社団法人 大田工業連合会は、東京都大田区に所在する 9 つの工業団体、その会員企業 703 社が連合し、地域の工業振興に資する各種活動を行っています。

サントリーグループも地域の工業団体※に加入しませんか！ 地域の工業団体に加入することで当会会員となります

- ▶蒲田工業協会 ▶(一社)大森工場協会 ▶工和会協同組合 ▶都南工業給食協同組合 ▶蒲田工業協同組合
▶(一社)仲池上商工業振興会 ▶東京南シートメタル工業会 ▶東京都京浜島工業団地協同組合連合会 ▶城南島連合会

地域の工業団体に
会費や活動等をお問合せください

条件が合えば
ご加入・会の事業にご参加

大田工連会員として会員価格で
セミナーをご受講のほか、様々な
支援策の情報を取得いただけます

ご加入の手順

各種活動は大田工業連合会のホームページからご覧ください
<https://www.ootakoren.com/>



★ご加入に関するお問い合わせは
(一社)十田工業連合会担当:吉崎 連終生:3737-0797

OTAふれあいフェスタ 青年部出店



雨の中で健闘する青年部



鈴木区長



広瀬会長

大田区最大の区民まつり、「OTAふれあいフェスタ」が11月2、3日、開催された。主催はOTAふれあいフェスタ実行委員会と大田区。同イベントは大田区内の商店と団体、友好都市などの関連団体が出店し、例年15万人の参加者が訪れる大イベントだ。当会青年部連絡協議会も出店し、うどんやかき氷、チョコバナなどを販売した。

会場は、京浜急行平和島駅から徒歩15分にある「大森ふるさとの浜辺公園(ふるさとの浜辺エリア)」、「平和の森公園(緑のエリア)」、「平和島公園(太陽のエリア)」の3カ所。初日は雨が降り続く、あいにくの天気。当初は屋外での開催を予定していたオープニングセレモニーも、急遽「大森海苔のふるさと館」で行われた。実行委員の一員として、当会の広瀬安宏会長が参加。式典では鈴木晶雅区長が「OTAふれあいフェスタは大田区民の力を合わせ、大田区の魅力を世界に発信するイベント。開催に携わったすべてのスタッフ、職員に心より感謝したい。フェスタを通して地域のつながりと交流を広げ、存分に楽しんでほしい」と挨拶した。

青年部は「緑のエリア」の一角に出店した。うどんやかき氷、チョコバナナ、酒類などを販売。うどんは昨年も販売した釜玉うどんに加え、ごま油と鶏ガラだしなどで味付けし、上にチャーシューを並べた「油そば風うどん」も新発売。油そばという本来「中華麺」料理の名前を冠した「うどん」、でも名前は「そば」。日本語は難しい。非常に美味しかった。

チョコバナナは、大ぶりのバナナをチョコレートでコーティングした上に、チョコレートの「カラースプレー」をふりかけ、上にコアラのマーチをトッピング。可愛いデザインで子供に好評だった。

雨のせいで、緑のエリア全体がぬかるんでいたこともあり、全体的な客足は低調だったが、その中で青年部は健闘していた。

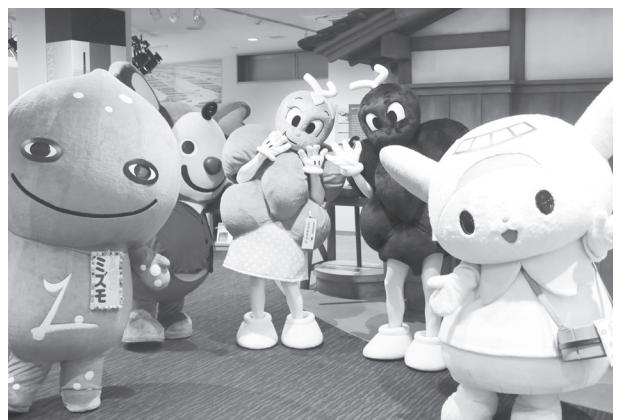
二日目は初日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、多くのお客様が来場した。名物であるみこしのパレード「OTAパレード」も実施され、会場のあちこちに明るい笑顔が溢れた。



子供たちに人気のチョコバナナ



うどんを作る青年部メンバー



大田区、友好都市のゆるキャラが集合

やさしい図面の見方講座(2回目)

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法、各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日 時 令和7年2月12日(水)・13日(木)・14日(金)・19日(水)・20日(木)(全5日間)※講座時間はいずれも、午後6時30分～9時30分

対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方

※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)

講師 日本工学院専門学校 岡崎先生 他

定員 30名(抽選制)

受講料 会員: 5,000円・非会員: 6,000円 (いずれも教材費等込)

申込〆切 令和7年1月15日(水)

申込・問合せ先 ※お申込みはFAXのみの受付となります。当会のホームページよりお申込み書をダウンロード又はお問合せください。

ホームページ <https://ootakoren.com/> 申込先 FAX: 03-3737-0799 まで

